



2018 年 10 月 22 日

SUPER GT 第 7 戦オートポリス、2 台の Audi R8 LMS が我慢強く完走

- Audi Team Hitotsuyama は予選 18 位から、着実な走りをみせ 14 位で完走
- Team TAISAN は最後尾スタートから追い上げ、20 位完走を果たす

アウディ ジャパン株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：フィリップ ノアック）は、Audi R8 LMS で 2018 年シーズンの SUPER GT GT300 クラスに参戦するカスタマー（プライベート）チームをサポートしています。10 月 20 日（土）、10 月 21 日（日）、オートポリス（大分県 1 周 4,674m）で 2018 SUPER GT 第 7 戦となる「AUTOPOLIS GT 300km Race」が開催されました。

今大会にも新型 Audi R8 LMS を擁する #21 Audi Team Hitotsuyama（アウディ チーム ヒトツヤマ）と、#26 Team TAISAN（チーム タイサン）の 2 チームが参戦。予選、決勝レースともに快晴に恵まれ、2 日間でのべ 3 万 930 人もファンがオートポリスを訪れました。

公式予選日、午前中は肌寒かったものの、午後には気温も 15 度を超えタイムアタックには絶好のコンディションとなりました。予選 Q1、Audi Team Hitotsuyama はリチャード ライアン選手が、Team TAISAN は川端伸太郎選手がそれぞれ担当しました。ともにタイム更新を狙ったラップの最中に不運にも赤旗で予選は中止。その結果、両チームとも Q1 を突破することはできず、Audi Team Hitotsuyama は予選 18 位、Team TAISAN は 23 位という結果となりました。その後、Team TAISAN には不運が重なり、赤旗後のピットイン不履行としてペナルティが課され、最後尾スタートとなりました。

秋晴れのもと、決勝レースがスタート。Audi Team Hitotsuyama は第 1 スティントをリチャード ライアン選手が担当。着実な走りで 15 位までポジションアップして第 2 スティントを担当する富田竜一郎選手へとドライバー交代。富田選手はタイヤをいたわりながら我慢強く走り続け、14 位完走となりました。Team TAISAN は第 1 スティントを山田真之亮選手が担当。冷静な走りで 18 位までポジションをアップし、第 2 スティントの川端伸太郎選手へとバトンタッチしました。ここからの追い上げが期待されましたが給油トラブルが発生、予定外のピットインを余儀なくされ 20 位完走という結果になりました。

Audi Team Hitotsuyama チーム代表 一ツ山 亮次氏のコメント

「予選は、リチャード選手がまさにベストラップを刻んでいる最中での赤旗で、この時点でタイヤの性能を使い切ってしまったため、今年初めての Q1 敗退となってしまいました。このコースは道幅がかなり狭く、GT500 との混走時にラインを外すとタイヤカスを拾って、タイムがあがらなくなってしまうためにできるだけ前の順位でレースをしたかったのですが、とても残念です。そうして前半はタイムがうまくあがらなかったため、早めにピットインする作戦をとりました。ピット作業もうまくいき、渋滞を避けることができたので、終盤は富田選手のペースもよく 10 位まで 3~4 秒差というところまで追い上げることができましたが、ポイント圏内には手が届きませんでした。最終戦のもてぎは、マシンの特性にも合ったコースですし、これまでたまった鬱憤を晴らすようないいレースを見せたいと思います」

Audi Team Hitotsuyama リチャード ライアン選手のコメント

「この週末は本当に残念な結果に終わってしまいました。予選ではアタック中に赤旗が出てしまい、それ以上のタイムを出すことは困難でした。常にトップを目指して戦っていますが、決勝ではタイヤが何らかの問題で 2-3 周すると性能が落ちてしまったため、プッシュし続けたのですがうまくオーバー

テイクすることができませんでした。チームもドライバーも、パフォーマンスはトップチームにも負けていないと思います。あとはタイヤの性能がうまくマッチすれば、いい結果が出せるはずですが、最終戦に向けてあきらめることなく、次もプッシュし続けていきます」

Audi Team Hitotsuyama 富田 竜一郎選手のコメント

「週末を通じて想定していたほどのタイムは出ていませんし、まだまだパフォーマンスは足りないと感じています。レース後半では、周囲のチームがラップタイムを落としてきた中でいいペースで走ることができましたし、決勝レースでのチームのピット作業はとても素晴らしいものでした。ドライバーのパフォーマンスとしてもライバルに劣っているとは思いませんが、レース全体のアベレージをみたときには、まだまだ改善の余地があると感じています。最終戦のもてぎは、優勝を目指していきます。チームとリチャード選手と一丸となって、しっかり結果を残したいと思っています」

Team TAISAN 山田 真之亮選手のコメント

「予選は川端選手が Q1 を突破できるようないいタイムでアタックをしていただけに、とても残念な結果でした。決勝レースは最後尾からのスタートで、予選で使ったタイヤを履いていたためペースが上がらず苦労しましたが、できるだけタイヤを消耗しないことを心がけて、10 番手ほど順位をあげて次の川端選手にバトンを渡すことができました。もてぎは、Audi R8 にとって得意なコースだと思いますし、初戦の岡山でもポイントを取っていますので、最終戦のもてぎでも、いいかたちで今年を締めくくれるように頑張りたいと思っています」

Team TAISAN 川端 伸太郎選手のコメント

「フリー走行からの感触をもとにセットアップを変更して予選にのぞみました。マシンの印象はかなり良くて、Q1 を突破できるタイムでラップしていたのですが、最終コーナーで赤旗が出てしまいました。そのタイミングが悪くピットインできなかったこともあり、タイムも抹消され最後尾スタートになってしまいました。レースでのペースも悪くなっただけに今週はとても残念な結果となってしまいました。厳しい戦いが続いているますが、あきらめることなく最終戦のもてぎではしっかりとセットアップを煮詰めて、のぞみたいと思います」

アウディジャパンは Audi Sport customer racing パーツトレーラーを現地に配備して、SUPER GT に参戦するチームを支援しています。専用のトレーラーにボディ、エンジン等レース車検に適合した約 2500 アイテム、約 8000 点もの部品を積載し、いかなるレース展開にも対応できるようチームと共に全国のサーキットを転戦します。SUPER GT ならびにスーパー耐久シリーズへの参戦チームのサポートを通じて、アウディのサブブランドである Audi Sport のブランド認知の向上、イメージの強化をはかります。

今年の最終戦となる次戦 SUPER GT 第 8 戦は、11 月 10 日 (土) ~11 日 (日)、栃木県のツインリンクもてぎにて開催予定です。